

駅体制の見直しについて 提案を受ける！

高萩駅 みどりの窓口営業終了

原ノ町駅 みどりの窓口臨時窓口化

1. 実施内容

高萩駅 みどりの窓口営業終了 実施日2023年9月1日

2. 箇所体制

		現行			改正		
		変形等	一般	合計	変形等	一般	合計
勝田営業統括センター	管理	3	3	6	3	3	6
	一般	5	9	14	4	9	13

※業務の繁閑等に応じて1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。

※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

3. スケジュール

	2023年6月			2023年7月			2023年8月			2023年9月
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
勝田営業統括センター	社員 説明			社員教育			お客さま告知			実施日9/1

※スケジュールについては変更となる場合がある。

4. みどりの窓口体制の変更

駅名	現行	改正	実施日
高萩駅	7:30~18:00	営業終了	2023年9月1日
原ノ町駅	9:30~17:15	臨時窓口化	2023年7月1日

主な労使議論

組合:今施策を行う目的を明らかにすること。

会社:「変革2027」の実現に向け、効率的な業務執行体制を構築し生産性の向上を図り、経営体制の抜本的な強化に取り組む。2021年5月に本社がチケットレス化・モバイル化を推進する販売体制についてプレス発表を行った。みどりの窓口を2021年の3割程度にすることを公表し、水戸支社もそれに踏まえて今回高萩駅のみどりの窓口を終了する。

組合:高萩駅のみどりの窓口営業終了を行う目的を明らかにすること。

会社:勝田エリアの販売体制や1日の発券枚数は80枚程度、お客さまのご利用状況を踏まえて判断した。なお、窓口終了に合わせて話せる指定席券売機を導入する。レンタカー等一部発券出来ないきっぷについては、日立駅に案内する考えである。

組合:原ノ町駅のみどりの窓口を臨時窓口化する目的を明らかにすること。

会社:3月18日に話せる指定席券売機を導入した。合わせて相馬駅のみどりの窓口営業終了など、原ノ町エリアの体制を見直した。話せる指定席券売機はほとんどのきっぷを発売できるため、今後は話せる指定席券売機で対応する。一部話せる指定席券売機で対応できないきっぷは、みどりの窓口で対応することとする。エリアの特情を考慮し、臨時窓口化する判断をした。

組合:社員が臨機応変に対応できる体制を構築すること。

会社:基本は話せる指定席券売機だが、状況に応じて社員がみどりの窓口で対応することもある。

JR東労組水戸地本は、組合員の声をもとに、施策に向き合います！